文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	大阪府守口市	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	地域の文化遺産継承事業	【計画の改善時期】 平成 年度	
4 実施計画期間	平成 30 年度 ～ 平成 30 年度		
5 実施計画の概要			
<p>守口市第5次総合基本計画（平成23年3月策定）や第2次守口市生涯学習推進計画（平成25年2月策定）に基づき、重点分野の「まちとにぎわいと活力の創出」を中心に、「つながりとふれあいの推進」・「文化芸術の振興」・「青少年の育成健全」・「地域コミュニティの育成と活性化の支援」等の実現を目指し、地元の文化遺産を活用することで、より一層の地域コミュニティの活性化を図り、青少年育成健全等の発展も期待できると考えられることから、下記の取組を通じて地域全体での文化遺産を保存継承し活用していくための計画実施を目指す。</p> <p>◎地域の文化遺産継承事業（平成30年度）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大枝地区の祭礼、守口市だんじり祭等に使用するだんじりの修理と修理状況の一般公開 ・修理状況及び祭礼に係る記録作成 			
6 実施体制			
<p>守口市が、本実施計画に係る各種補助事業に係る調整並びに指導や普及広報活動等を行う。 主な担当課、役割は下記のとおり。 市民生活部生涯学習課：補助事業における文化財についての取扱に関する指導・調整等 市民生活部地域振興課：補助事業における各種行事に関する指導・企画調整・連携・普及広報等 また、補助事業は次の団体が実施する。 大枝秋の例大祭保存継承実行委員会</p>			
7 実施計画における目標と期待される効果			別紙①のとおり
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成29年度交付決定額： 千円	平成30年度申請額： 9,344 千円
(2) 実施事業の概要		別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
<p>市民の地域の文化遺産に対する関心や愛護意識がより一層向上し、各地区に残る貴重な文化遺産「だんじり」祭礼の保存継承を図るとともに、希薄化した地域住民の人間関係の改善や青少年育成健全化等、大枝地区を通じて守口市の今後の地域の活性化が期待できる。</p>			
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）			
事業概要：			
事業概要：			
事業概要：			
11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等			
<p>市民の地域の文化遺産に対する関心や愛護意識がより一層向上し、各地区に残る貴重な文化遺産「だんじり」祭礼の保存継承を図るとともに、希薄化した地域住民の人間関係の改善や青少年育成健全化等、大枝地区を通じて守口市の今後の地域の活性化が期待できる。</p>			
12 担当部局			
地方公共団体 担当部局課	大阪府 守口市 市民生活部 生涯学習・スポーツ振興課		

8 (2) 実施事業の概要 別紙

事業①：	大枝地車修理記録事業				実施団体：	大枝秋の例大祭保存継承実行委員会	
事業区分：	記録作成				事業期間：	平成 30 年度 ~ 平成 30 年度	
事業概要：	大枝秋の例大祭における祭礼や大枝地車修復状況など、後世に伝承していくために必要なDVD製作により行います。記録作成にあつては、委員会を開催し、地車復元修復における施工計画の協議を実施します。記録作成の主な対象は、祭礼当日の地車曳行、地車の保存修理のほか、獅子舞の巡行とします。						
評価指標区分：	・記録映像の貸し出し（又は利用）回数等				(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	地車復元修復記録映像年間貸出回数						
目標値：	【現状値】 平成 29 年度 0 回 ⇒ 【目標値】 平成 30 年度 30 回						
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率						
平成	年度	平成	年度	平成	年度	平成	年度
	回		回		回		回
事業②：	大枝地車復元修復事業				実施団体：	大枝秋の例大祭保存継承実行委員会	
事業区分：	用具等整備				事業期間：	平成 30 年度 ~ 平成 30 年度	
事業概要：	大枝秋の例大祭で使用する地車曳行は先人から大切に継承されてきました。地車は経年劣化で傷んでおり今後継続して安全曳行を行なう事は現状の劣化からみて難しい状況にあります。保存修理にあつては、文化的価値の保護のため基本的に既存形式・寸法を踏襲し行うものとし、一般への普及啓発のため地車製作の伝統技術の公開も行い、地域伝統文化を伝える地車や祭礼行事の継承を推進します。						
評価指標区分：	・祭礼行事への参加住民数				(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	祭礼参加者						
目標値：	【現状値】 平成 29 年度 50 人 ⇒ 【目標値】 平成 30 年度 70 人						